

第20回神奈川県小中学校将棋大会・招待チームの感想

第20回大会招待チームの引率者や出場者の方々より、大会を終えての感想が届けられました。

1 江東区チーム責任者 北 昌宏 様

神奈川の小中学生将棋大会に参加させて頂きありがとうございました。全体として、大会の運営が整然と行われているのにまず感心しました。これもひとえに大会関係者の方々が、これまで積み重ねられてきた10年間の活動の成果の賜物と思います。大会関係者の方のこれまでのご尽力に重ねてお礼申し上げます。

江東区から参加した小学生達も、神奈川の小中学生と将棋を通じて楽しく交流する機会が得られてとても喜んでいました。江東区チームは運よく上級1組の部で準優勝となりましたが、どの試合も大熱戦で、神奈川県の小中学生のレベルの高さに驚かされました。

今後も、こうした機会があれば参加させて頂きたいと思いますので宜しくお願い致します。

2 中央区将棋同好会指導員 高村 善雄 様

参加しての感想としては、歴史、組織、運営、棋力のレベルとも大変素晴らしく、特に中学生がてきぱきと盤駒を片付けていたのが印象的でした。(我々はロートルがやっている)

中央区は昨年末の小学生大会で急に100人近い応募があり(一昨年は15人程度だった)急に盛んになったところです。…中略…

いずれにしても、全ての面で大先輩である、神奈川県小中学校将棋連盟の皆様にご指導いただきながら、中央区の将棋普及も盛んにして、毎年参加できるようになればと、大会当日会場にも来られた、佐藤会長(康光九段父君)、伊藤副会長とも話し合っております。

☆ 中央区Aチームは、組み合わせが厳しく、6クラス中最上位の王位クラス的最強リーグに生まれ、東戸塚小A(全国小学校2位)、聖光学園中A(全国中学校3位) 関東学院中Aには完敗を喫したが、順位決定戦では昨年今大会優勝のもえぎ野中に1-2、更に栄光学園中には2-1で勝つ等大健闘と言える。

特筆すべきは大将、須山菜々さん(阪本小5年)の戦いぶりで、有名中学の大将相手に2勝を挙げたのは本当に素晴らしかった。高橋錬太郎君、松下虎太郎君は相手が強すぎて、残念だったと思うが、日本でもトップクラスのチームメンバーと戦えて、良い勉強になったと思う。(高村善雄)

☆ 中央区Bチームは、Aチーム同様に6クラス中上から2番目の上級クラスのリーグで、対戦相手も深谷中、東海大相模中、上菅田中、樽町中、蒔田中と中学生ばかりのメンバーで、苦戦するものと覚悟していました。

最初は、体も一回り大きい選手に飲み込まれていましたが、徐々に慣れたのか、チーム成績3勝2敗という、堂々たる成績でした。

ちびっこチーム(2年、3年)は、チームワークも運も良かったようで(逆転も多かった)、この年で、チェスクロックや、大会の緊張ムードを体験できたのは、結果以上に財産になることだと思います。(伊藤 修朗)

3 参加選手の感想

①中央区Aチーム大将 須山 奈々さん(小5)

神奈川県での大会は2回目なので、少し緊張しました。中学生が強く、苦い対局が多かったのですが、2局勝てて良かったです。団体戦は個人戦とは違う面白さがあって、とても楽しかったです。

②中央区Bチーム大将 東 朋寛さん(小2)

初めての団体戦、初めての大将、勝たなくちゃと思ってすごく緊張しました。相手が強くてあっという間に負けてしまい、すごくすごく悔しかったです。だけど、皆と一緒に出場したのは、友達もできたりして、楽しかったです。

もっともっと強くなって、また出場して今度は絶対にみんなで勝ちたいと思いました。

③品川区チーム大将 内山 あやさん(小5)

私は神奈川県小中学校団体戦に招待チームとして出場し、王位リーグで7位と予想以上に良い成績を残すことができ嬉しかったです。

はじめは招待される立場だと聞いて緊張しましたが、大会の日になるといつも通り指せば良いんだと思い、リラックスして指す事ができました。

団体戦で小学生と中学生が対戦する大会は珍しいので少し驚きました。さらに、棋力順に並ばなければならないというルールによって、組み合わせの妙などを減らし、実力通りに順位が決まるんだなと思いました。そのようなこの大会のルールを面白いと感じました。

また、神奈川県の中学校は特に積極的だと思いました。もえぎ野中などは8チームも参加し、準備を手伝っているのを見て、このような取り組みがあるから、全国大会に残るほどの強いチームが生まれていくんだな、と思いました。

また、機会があったらぜひ参加したいです。ありがとうございました。

④調布市チーム大将 山下 正浩さん(中2)

僕は、今回の都市友好小中学校将棋大会団体戦で、「相手を敬う」ということの大切さを改めて知りました。

僕が参加していたチームは、けっこう棋力が強い人がいました。相手チームは中学生ばかりだったけど、チームの仲間の人フォローしてくれて連勝することができました。

その中で、相手の中学生たちは、勝っても負けても態度良く、「負けました」「有難うございました」などと、基本的なことだけど、しっかり言ってくれて、とても快く一局を終えることができました。

このことを、将棋をする中で、改めてしっかり行っていき、次は、この大会で優勝できるように努力を尽くしていきたいです。